

ウミナ類の見分け方 ~ぐるっと見てみよう~

ウミナ	ホソウミナ	イボウミナ	ヘナタリ	カワアイ	フトヘナタリ	コゲツノブエ
 丸みがある	 シュッと直線的	 イボイボで直線的	 直線的 殻口の下側が張り出す	 少し丸みがある ゴツゴツとした表面	 とぐる状	 丸みがある ゴツゴツした表面
 下が張り出す	 張り出さない	 いちど湾入して 張り出す	 全部張り出す	 ほぼ張り出さない	 張り出さない	 下が張り出す
 半円のかたち	 円のかたち	 円のかたち	 半円のかたち	 円のかたち	 円のかたち	 円のかたち

※このシートは市民調査で見られる代表的なウミナ類を対象としています

ウミナ類の見分け方 ～細かく見てみよう～

ウミナ
Batillaria multiformis
 【生息地】
 北海道南部～九州の砂泥の干潟・岩礁域
 【希少種】
 準絶滅危惧種
 小櫃川で見つけたらゴットハンド
 (和) (有) (八)

ホソウミナ
Batillaria cumingi
 【生息地】
 北海道～九州の砂泥の干潟・岩礁域
 【希少種】
 準絶滅危惧種
 東京湾では爆発的に増えている
 (小) (和) (有)

イボウミナ
Batillaria zonalis
 【生息地】
 北海道南部～南西諸島の砂干潟の沖側
 【希少種】
 絶滅危惧Ⅱ類
 限られた地域でのみ確認される
 (和)

ヘナタリ
Cerithideopsilla cingulata
 【生息地】
 房総半島・北長門海岸～南西諸島の砂泥の干潟
 【希少種】
 準絶滅危惧種
 和歌浦干潟ではゴロゴロいる
 (和)

カワアイ
Cerithideopsilla djadjariensis
 【生息地】
 東北地方～南西諸島の泥干潟
 【希少種】
 準絶滅危惧種
 八代海では珍しくないが、大島地先では少ない

フトヘナタリ
Cerithidea rhizophorarum
 【生息地】
 東北地方～九州、南西諸島砂泥干潟のヨシ原の際
 【希少種】
 準絶滅危惧種
 小櫃川では、場所により生息する
 (和)

コゲツノブエ
Cerithium coralium
 【生息地】
 房総半島・北長門海岸～南西諸島 砂泥の干潟の沖側
 【希少種】
 準絶滅危惧種
 限られた地域でのみ確認される
 (和) (有)

市民調査でよく確認される場所

- (小) 小櫃川河口干潟
- (和) 和歌浦干潟
- (有) 有田川
- (八) 八代海 (大島地先)

※希少種の評価
 干潟の絶滅危惧動物図鑑 (日本ベントス学会編, 2012)

※枠の色の意味

- 潮上帯
- 潮間帯
- 潮下帯



この資料はポートレースの交付金による日本財団の助成を受けて作成しました。



MS&ADホールディングス



日本国際湿地保全連合

制作 (2012年) : DIV SCIENCE